

山陰花菖蒲同好会について

松江市 金子嘉明

私は昨年秋から松江市で花菖蒲の栽培を始めたばかりで、東京と松江間を2ヵ月に10日間位行ったり来たりの生活が続いて、花菖蒲栽培に時間を惜しむ日々を送っている私に、米子市在住の吉灘さんより連絡がありました。諸般の事情により山脇さんを中心に地元の花菖蒲愛好家の有志が集まって、花菖蒲同好会を立ち上げたいので協力して欲しいと要請があり、山脇さんよりも電話があり、一緒にやろうと言う事で、同好会の設立に参画しました。会の設立発起人は、盆栽の大家で、山脇さんの勧めで入会された花菖蒲の達人の、吉灘氏が一念発起し、会員の景山、前田、古田、大谷氏の5人が参画しました。そのほか地元の愛好家も参加し、総勢9人の会員でスタートしました。鳥取県、島根県を中心に、範囲は東は城崎温泉から西は萩市を目途に広島県と岡山県の隣接地域も対象にしたエリアでの、花菖蒲の普及と会員募集活動をスローガンにし、名称は、「山陰花菖蒲同好会」に決定しました。会長は、会の設立に奔走された吉灘氏、副会長は、花菖蒲の大家平尾秀一氏と生前親交のあった景山氏、事務局関係は古田、前田の両氏とし、山脇さんと金子が顧問として発足しました。

発足記念に花菖蒲展を企画しましたが、全ての会場は予約で一杯で会場は決まらずにいましたら山脇さんの奔走により、大山にある、「とっとり花回廊」で開催できることになりました。

記念すべき第一回花菖蒲展示会は「とっとり花回廊」で6月16日（金）～24日（日）の9日間となりました。会員の皆さんが出展の準備に取り掛かり、最初の展示会の成功に向けて鋭意努力された。当日出展された鉢植えの花菖蒲は見事な出来栄で、県内外の来園者の心を捉え、会員各位の見せる花を作る栽培技術のレベルの高さに驚かされました。展示場が「とっとり花回廊」入場口の隣とあって、初日から大勢の入場者が朝早くから来場、吉灘会長の見事な対応説明に、会長力



作の見事なポット植えの花菖蒲が、沖縄のお客さんの目に留まり、1ケースまとめて買われたのを皮切りに、会員の皆さんの意欲が高まり、見事な対応と説明で販売の数字が急上昇した。以後、来場者は順調で、風蘭も展示即売され大人気でした。

テレビ局の取材があり花菖蒲の解説を吉灘会長が、風蘭の解説で古田氏が出演し放映されたのを観られて求めてやって来られるお客さんは、岡山県、広島県、四国、関西方面の方も多く見られた。地元、近隣の方の花菖蒲に寄せる関心は高く地域柄、広い屋敷の一角で庭植えを希望する方が多かったので、見事な出来栄の鉢植え作品を見て、関心が高まり栽培方法について質問が多く、鉢植栽培が出来る事を説明すると納得され、ポット苗を大量に購入される方が多かったです。お陰様で天候にも恵まれ多数の入場者で、売り上げも上々の吉灘会長の話でした。今回の実績により、平成25年の5月と6月に「とっとり花回廊」で花菖蒲展の開催が決定しました。

現在、当会の会員数は20名、うち日本花菖蒲協会会員が18名です。今後も会員増員に努め、大船の展示会をも凌ぐ花菖蒲展の開催を目指して頑張っていきます。

機会がありましたら、「とっとり花回廊」の花菖蒲展にもお越しください、山陰花菖蒲同好会会員皆でお待ちしております。